



DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「九州の人口移動」と「訪日外国人数」です。



九州の人口移動

検索



訪日外国人数

検索



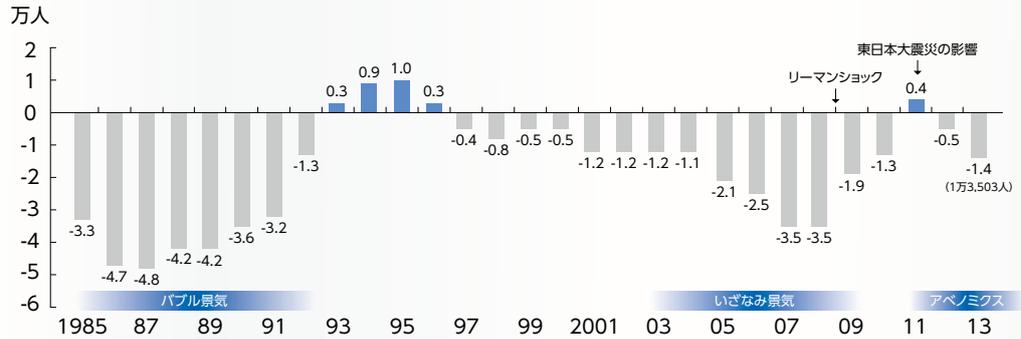


九州の人口移動

2013年における九州（沖縄を含む）の人口移動を見てみると、九州域外から九州への転入者は13万5,330人、九州から九州域外への転出者は14万8,833人となり、1万3,503人の転出超過となりました。県別では、福岡県と沖縄県が転入超過、他の6県は転出超過となっています。

一般的に景気回復局面では、求人の多い大都市圏への人口流出が進み、地方の人手が不足しがちになります。景気回復が本格化すると、九州の転出超過が更に進み、地方の労働力減少が予想されます。

九州の転入超過数（転入－転出）の推移



(出所:総務省「住民基本台帳人口移動報告」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

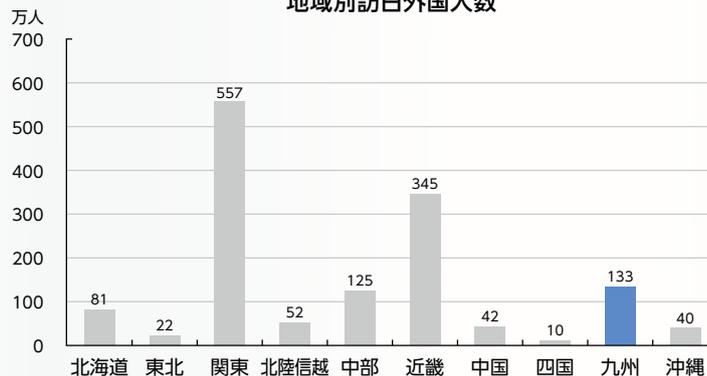


訪日外国人数

2013年、日本を訪れた外国人の数が初めて1,000万人の大台を突破しました。政府は東京オリンピックが開催される2020年に2,000万人まで増やす目標を掲げており、本年は7月末時点で753万人（前年比+26.4%）と順調に推移しています。

訪日外国人数を地方別に見ると、九州は133万人と関東、近畿に次ぐ3位となっています。九州はその5割超を韓国人が占めるという特徴があり、高速船やフェリーが数多く往来する地理的な近さが要因と考えられます。

地域別訪日外国人数



※ 複数回答（複数の地方を訪問した場合は各地方でカウント）、長野県は北陸信越、福井県は中部に含む。

※ 人数は資料を基に推計。

(出所:観光庁「訪日外国人消費動向」(平成25年)、日本政府観光局(JNTO)「2013年訪日外客数(総数)」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

福岡県の景気は、一部に消費税増税に伴う駆け込みの反動が残るものの、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

生産は、トランジスタが増産となった電子部品・デバイスや食料品が上昇しています。個人消費は、好調な惣菜等の中食品に支えられ、緩やかな持ち直しの動きが続いています。住宅建設は、消費税増税に伴う駆け込み着工の反動が見られます。

(森山 裕司)

1.生産活動 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は106.3と前月比0.8%低下しました。

主要業種では、四輪自動車の生産が減少した輸送機械が低下したものの、トランジスタが増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、生産は緩やかな持ち直しの動きが続いています。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)



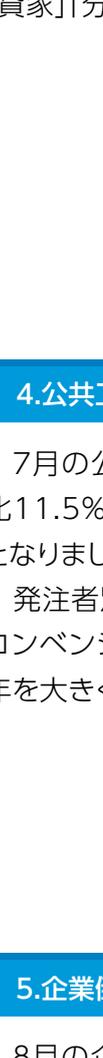
2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

7月の大型小売店販売額は、前年同月比1.1%減の620億円となりました。

宝飾や貴金属等の高額品は、消費税増税に伴う駆け込みの反動で低調に推移しています。天候不順の影響で衣料品等が振るわなかった一方で、惣菜等の中食品が好調な飲食料品は前年を上回っています。

■福岡県の大型小売店販売額(前年比)

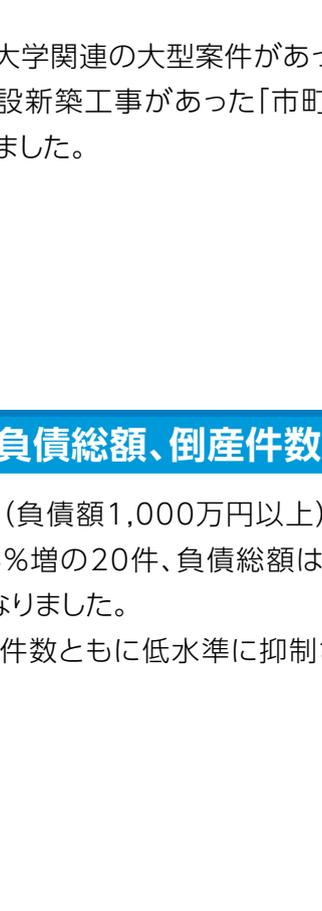




3.住宅建設 | 消費税増税に伴う駆け込み着工の反動減が見られる

7月の新設住宅着工戸数は、2,520戸と前年同月比30.4%減少しました。

消費税増税に伴う駆け込み着工の反動で、「持家」「貸家」「分譲(マンション)」が大きく減少しました。



4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比11.5%減の873件、金額が同9.7%増の490億円となりました。

発注者別では、大学関連の大型案件があった「県」、コンベンション施設新築工事があった「市町村」が前年を大きく上回りました。



5.企業倒産 | 負債総額、倒産件数ともに低水準に抑制

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比5.3%増の20件、負債総額は同約2.2倍の約26億円となりました。

負債総額、倒産件数ともに低水準に抑制されています。



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

熊本県の景気は、個人消費が底堅く推移している他、主要指標である生産に持ち直しの動きが続く等、総じて持ち直しの動きが続いています。

生産は、電子部品・デバイスや輸送用機械が上昇する等、持ち直しの動きが続いています。個人消費は、天候不順の影響等から衣料品が低迷していますが、主力の飲食料品が好調である等、底堅く推移しています。住宅建設は3ヵ月ぶりに前年を上回りました。

(大仲 陽介)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は104.0と前月比0.6%上昇しました。

主要業種では、スマートフォンや自動車向けの半導体が好調な電子部品・デバイスや、自動車関連部品が増産となった輸送機械が上昇する等、持ち直しの動きが続いています。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

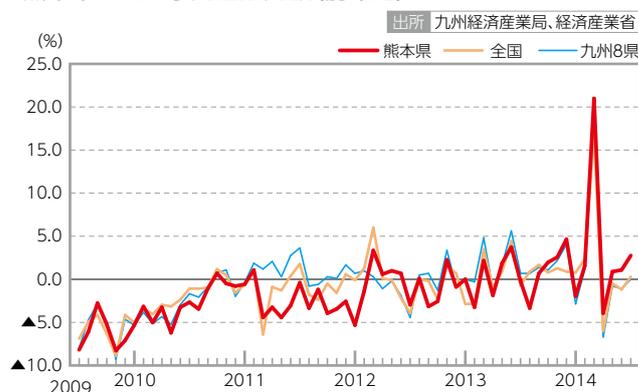


2.個人消費 | 底堅く推移している

7月の大型小売店販売額は、前年同月比2.8%増の156億円となりました。

天候不順の影響等で衣料品は前年を下回りましたが、主力の飲食料品が前年同月比8.3%増と好調で、全体を押し上げました。

■熊本県の大型小売店販売額(前年比)



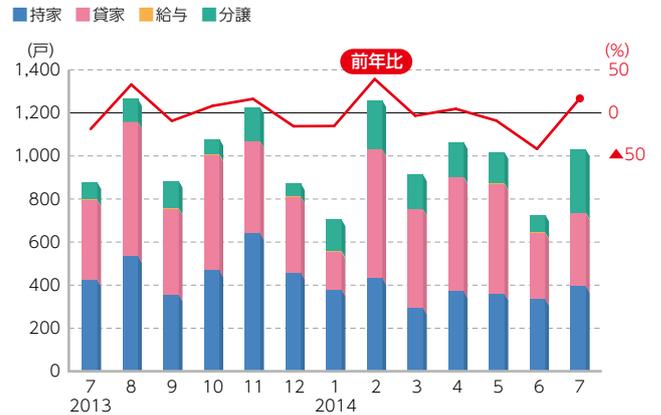
3.住宅建設 | 着工戸数は3ヵ月ぶりに前年を上回る

7月の新設住宅着工戸数は、1,027戸と前年同月比17.4%増加しました。

「持家」「貸家」「分譲(戸建)」は前年を下回りましたが、前年に着工の無かった「分譲(マンション)」で着工(232戸)があり、全体を押し上げました。

■熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



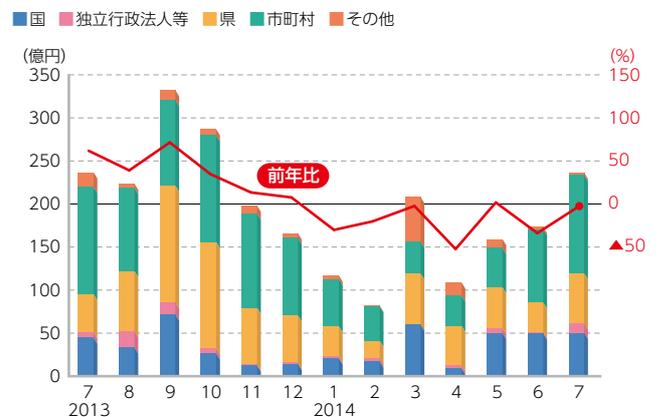
4.公共工事 | 請負額は前年並み水準

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比1.6%増の618件、金額が同0.2%減の238億円となりました。

発注者別では、図書館関連工事のあった「県」や「独立行政法人等」が前年を上回りました。

■熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



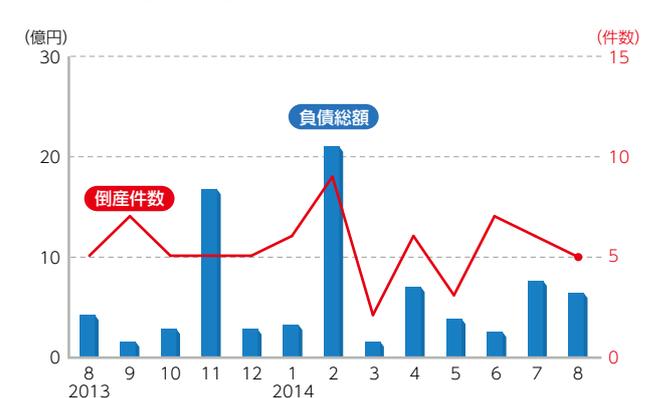
5.企業倒産 | 負債総額は5ヵ月連続で前年を上回る

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同数の5件、負債総額が同51.5%増の約7億円となりました。

通信販売業や畜産業で1億円超の倒産があり、負債総額は5ヵ月連続で前年を上回りました。

■熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

長崎県の景気は、主要指標である生産で持ち直しの動きが続いている他、個人消費は底堅く推移する等、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られます。

生産は、月次の振れを伴いつつも、持ち直しの動きが続いています。個人消費は、駆け込み需要の反動減がなお見られるものの、非耐久消費財を中心に収束した品目も見られる等、底堅く推移しています。住宅建設は底堅く推移しています。

(下田 大氣)

1.生産活動 | 月次の振れを伴いつつも、持ち直しの動きが続いている

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は84.1と前月比0.8%上昇しました。

生産は、月次の振れを伴いつつも、持ち直しの動きが続いています。

主要業種では、発電機が増産となった電気機械や、ボイラーの生産が増加したはん用・生産用機械が前月を上回りました。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)



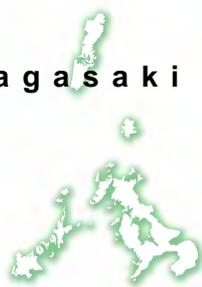
2.個人消費 | 底堅く推移している

7月の大型小売店販売額は、前年同月比3.5%減の106億円となりました。

駆け込み需要の反動減がなお見られるものの、非耐久消費財を中心に収束した品目も見られる等、個人消費は底堅く推移しています。

■長崎県の大型小売店販売額(前年比)





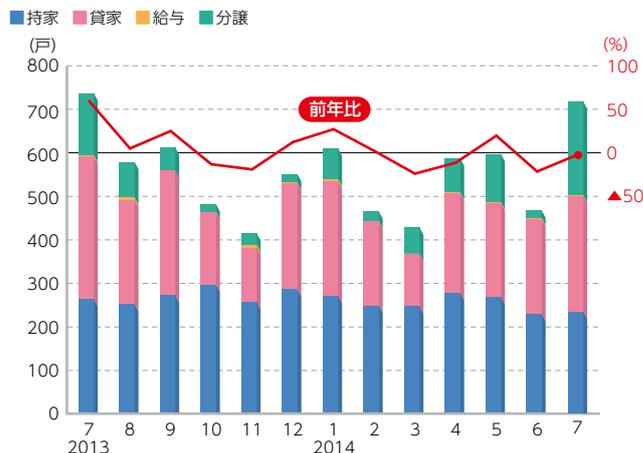
3.住宅建設 | 底堅く推移している

7月の新設住宅着工戸数は、720戸と前年同月比2.4%減少しました。

「戸建」「貸家」は好調だった前年と比較するとマイナスとなりましたが、「分譲(戸建・マンション)」が前年を大きく上回る等、底堅く推移しています。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



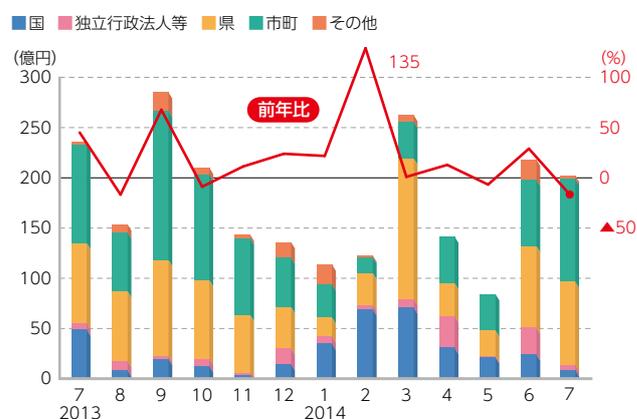
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比4.4%減の547件、金額が同15.1%減の204億円となりました。

発注者別では、浄水場関連で大型案件があった「市町」が前年を上回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



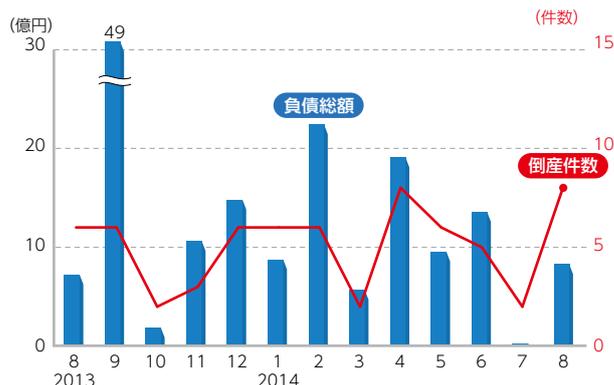
5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%増の8件、負債総額が同14.1%増の約8億円となりました。

運送業で負債総額1億円を超える倒産が3件発生し、負債総額は前年を上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

佐賀県の景気は、主要指標である生産や個人消費が底堅く推移する等、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られます。

生産は、月次の振れを伴いつつも、底堅く推移しています。個人消費は、駆け込み需要の反動減がなお見られるものの、非耐久消費財を中心に収束した品目も見られる等、底堅く推移しています。住宅建設は3ヵ月連続で前年を上回りました。

(下田 大氣)

1.生産活動 | 月次の振れを伴いつつも、底堅く推移している

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は93.4と前月比8.8%低下しました。

生産は、月次の振れを伴いつつも、底堅く推移しています。

主要業種では、車体部品が減産となった輸送機械が低下した他、菓子類の生産が減少した食料品が低下しました。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

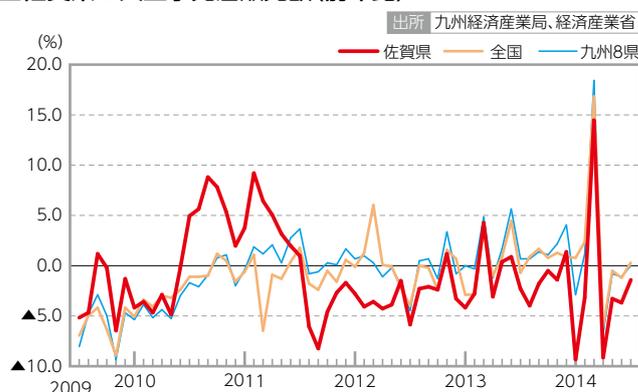


2.個人消費 | 底堅く推移している

7月の大型小売店販売額は、前年同月比1.4%減の58億円となりました。

駆け込み需要の反動減がなお見られるものの、非耐久消費財を中心に収束した品目も見られる等、個人消費は底堅く推移しています。

■佐賀県の大型小売店販売額(前年比)





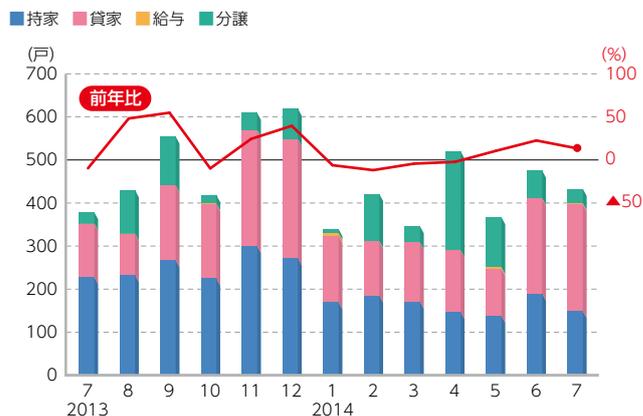
3.住宅建設 | 着工戸数は3ヵ月連続で前年を上回る

7月の新設住宅着工戸数は、433戸と前年同月比12.8%増加しました。

「持家」は前年を下回ったものの、「貸家」と「分譲（戸建）」が前年を上回り、着工戸数は3ヵ月連続で前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



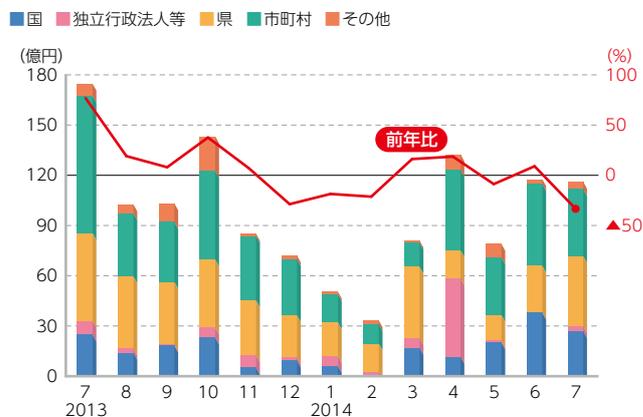
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比6.9%増の293件、金額が同33.5%減の118億円となりました。

発注者別では、筑後川関連工事で大型案件があった「国」は前年を上回ったものの、「県」や「市町村」は大型案件が乏しく前年を下回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



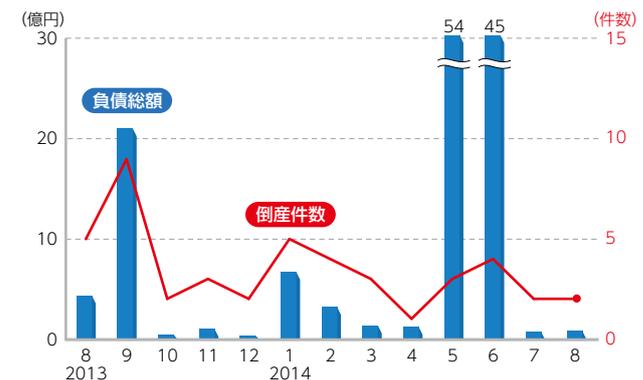
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準

8月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比60.0%減の2件、負債総額が同79.6%減の9千万円となりました。

負債総額1億円を超える倒産は無く、負債総額、件数ともに低水準に抑制されています。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

大分県の景気は、主要指標である生産で一部に弱さが見られるものの、個人消費が底堅く推移する等、総じて持ち直しの動きが続いています。

生産は、駆け込み需要の反動減に伴う減産の動きが見られる等、一部に弱さが見られます。個人消費は、駆け込み需要の反動減がなお見られるものの、非耐久消費財を中心に収束した品目も見られる等、底堅く推移しています。住宅建設は、駆け込み需要の反動減が見られます。

(松永 圭史)

1.生産活動 | 一部に弱さが見られる

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は90.3と前月比7.8%低下しました。

生産は、駆け込み需要の反動減に伴う減産の動きが見られる等、一部に弱さが見られます。

主要業種では、一眼レフカメラの生産が減少した電気・情報通信機械や、段ボール原紙が減産となったパルプ・紙・紙加工品が低下しました。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

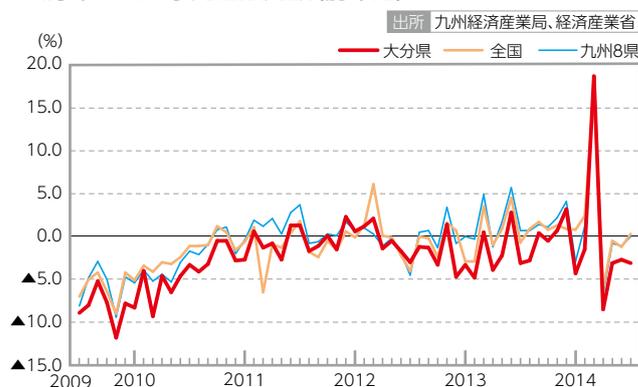


2.個人消費 | 底堅く推移している

7月の大型小売店販売額は、前年同月比3.1%減の107億円となりました。

駆け込み需要の反動減がなお見られるものの、非耐久消費財を中心に収束した品目も見られる等、個人消費は底堅く推移しています。

■大分県の大型小売店販売額(前年比)





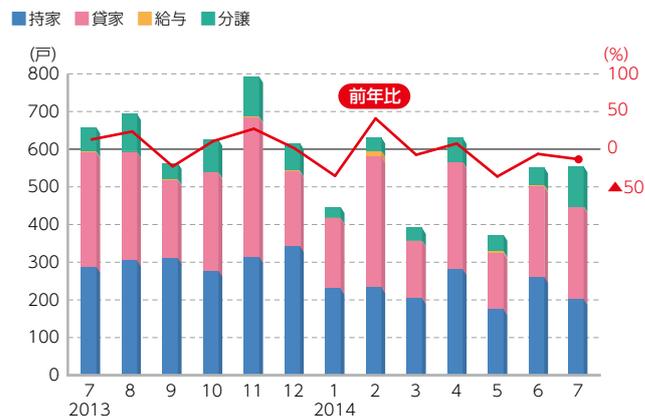
3.住宅建設 | 駆け込み需要の反動減が見られる

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比15.7%減の559戸となりました。

「分譲」は前年を上回りましたが、「持家」「貸家」が前年を下回る等、駆け込み需要の反動減が見られます。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



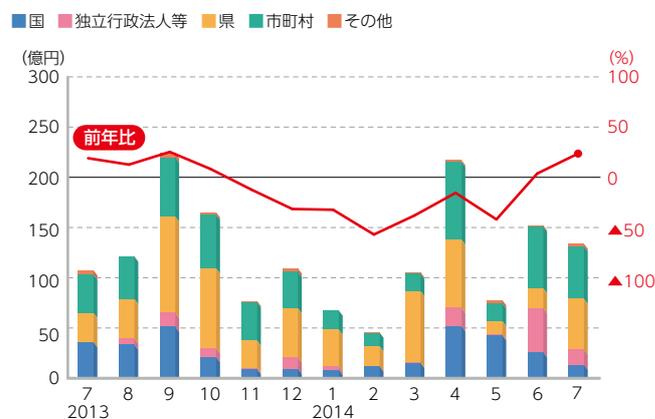
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を上回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比1.8%減の377件、金額が同24.5%増の135億円となりました。

発注者別では、大学病院関連の大型案件があった「独立行政法人等」が前年を上回った他、「県」や「市町村」が前年を大きく上回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



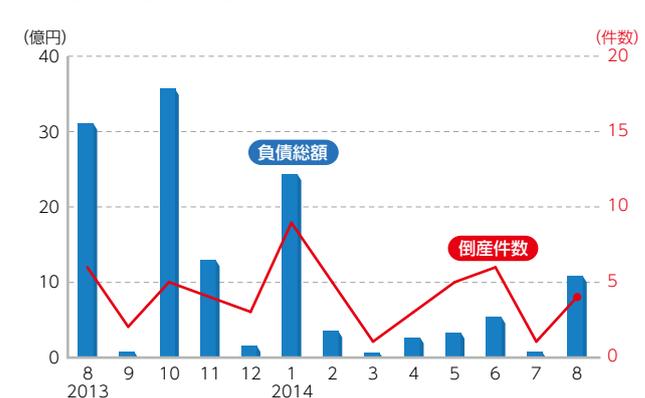
5.企業倒産 | 負債総額は7ヵ月ぶりに10億円を超える

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%減の4件、負債総額が同65.2%減の約11億円となりました。

結婚式場で約9億円の倒産が発生し、負債総額は7ヵ月ぶりに10億円を超えました。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

宮崎県の景気は、主要指標である生産に持ち直しの動きが見られる他、個人消費が底堅く推移する等、総じて持ち直しの動きが続いています。

生産は、焼酎が増産となった食料品が上昇する等、持ち直しの動きが見られます。個人消費は、駆け込み需要の反動減がなお見られるものの、非耐久消費財を中心に収束した品目も見られる等、底堅く推移しています。住宅建設は、駆け込み需要の反動減が見られます。

(松永 圭史)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが見られる

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は103.4と前月比1.4%上昇しました。

主要業種では、焼酎が増産となった食料品や、合成樹脂塗料の生産が増加した化学が上昇する等、生産は持ち直しの動きが見られます。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

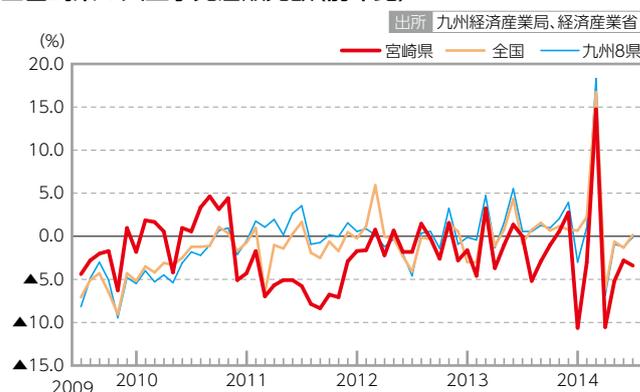


2.個人消費 | 底堅く推移している

7月の大型小売店販売額は、前年同月比3.3%減の76億円となりました。

駆け込み需要の反動減がなお見られるものの、非耐久消費財を中心に収束した品目も見られる等、個人消費は底堅く推移しています。

■宮崎県の大型小売店販売額(前年比)





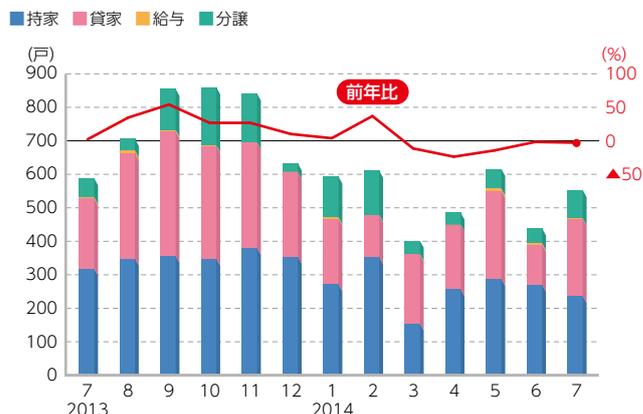
3.住宅建設 | 駆け込み需要の反動減が見られる

7月の新設住宅着工戸数は、552戸と前年同月比6.0%減少しました。

「貸家」は前年を上回りましたが、「持家」や「分譲(戸建)」が前年を大きく下回る等、駆け込み需要の反動減が見られます。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



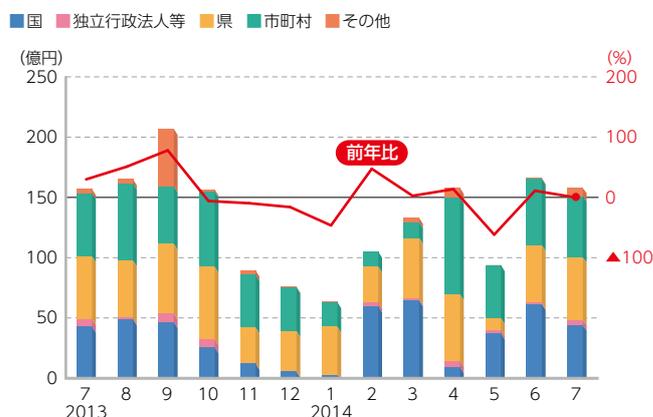
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を上回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比9.2%減の463件、金額が同0.6%増の160億円となりました。

発注者別では、防波堤関連工事等の大型案件があった「国」や、火葬場建設工事の発注があった「その他公共的団体」が前年を上回り、全体でも2ヵ月連続で前年を上回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



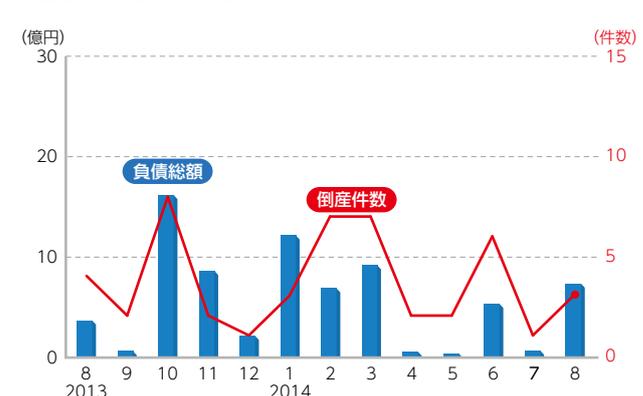
5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比25.0%減の3件、負債総額が同約2倍の約7億円となりました。

旅館で4億円の倒産が発生する等、負債総額は前年を上回りました。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 持ち直しの動きが見られる

鹿児島県の景気は、一部に消費税増税に伴う駆け込みの反動が残るものの、持ち直しの動きが見られます。

生産は、スマートフォン関連部品の生産が増加した電気・情報通信機械が上昇する等、月次の振れを伴いつつも持ち直しの動きが続いています。個人消費は、天候不順のため、夏物衣料や飲料が振るわなかったものの、マイナス幅が前月から縮小し、持ち直しの動きが見られます。住宅建設は、消費税増税に伴う駆け込み着工の反動が見られます。

(森山 裕司)

1.生産活動 | 月次の振れを伴いつつも、持ち直しの動きが続いている

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は88.0と前月比4.1%低下しました。

生産は、月次の振れを伴いつつも、持ち直しの動きが続いています。

主要業種では、カメラ向け半導体素子が減産となった電子部品・デバイスが低下したものの、スマートフォン関連部品の生産が増加した電気・情報通信機械が上昇しています。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

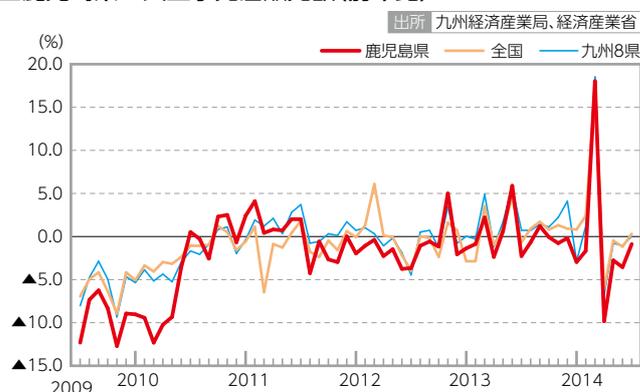


2.個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

7月の大型小売店販売額は、前年同月比0.7%減の145億円となりました。

天候不順のため、夏物衣料が振るわなかった衣料品、飲料等が伸び悩んだ飲食料品ともに前年を下回ったものの、マイナス幅は前月から縮小しています。

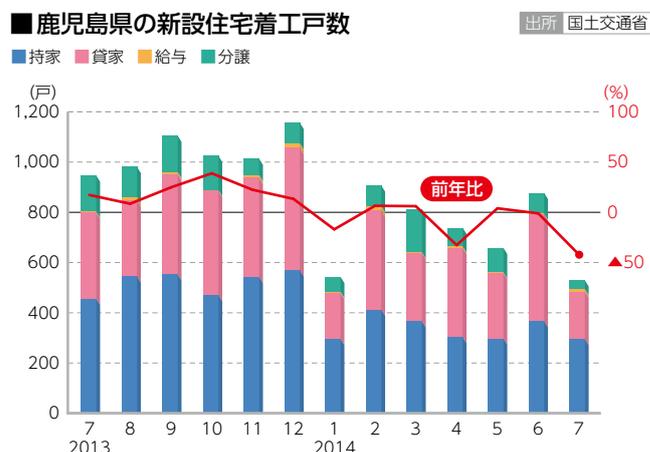
■鹿児島県の大型小売店販売額(前年比)



3.住宅建設 | 消費税増税に伴う駆け込み着工の反動減が見られる

7月の新設住宅着工戸数は、535戸と前年同月比44.2%減少しました。

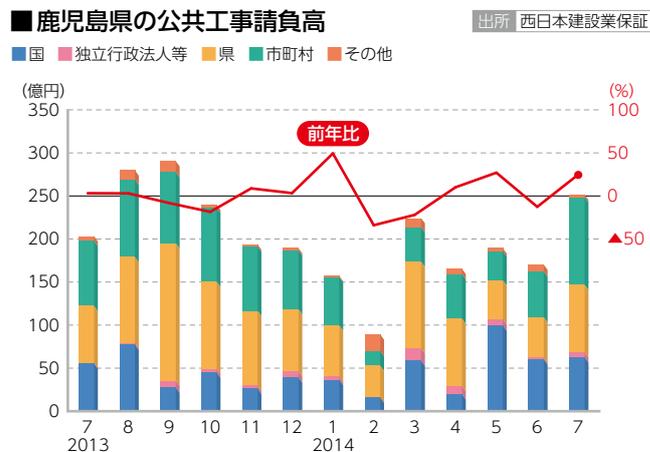
消費税増税に伴う駆け込み着工の反動で、「持家」「貸家」「分譲」が大きく減少しました。



4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比1.0%減の728件、金額が同23.0%増の254億円となりました。

発注者別では、防災関連の大型案件があった「市町村」の他、「国」や「県」が前年を上回っています。



5.企業倒産 | 負債総額は2ヵ月連続で減少

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同数の6件、負債総額が前年同月比約2.4倍の約9億円となりました。

小売業で販売不振を原因とした大型倒産があったものの、負債総額は2ヵ月連続で減少しています。

